

時間割コード	G3D21314	開講年度	2026				
授業題目	プラクティカル・イングリッシュⅢ（初級）					担当教員	内川 安江
英文授業名	Practical EnglishⅢ						
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	火曜・3時限	対象学生	JⅡ【6】
講義室	共通教育2 3 講義室			授業形態	演習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				⇔	【授業の達成目標】	
	大学D P						
	学士の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力				⇔	英語を使い他者とコミュニケーションを取ることができるようになる。	
(2)授業で学べる「テーマ」	多文化協働						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	日常英語やビジネス英語など実用的な英文（ 広告・案内文・手紙など ）を多く読み、日常的な英会話を聞き理解する。併せて、実用的な英語表現・文法・語法・コロケーションの確認、ビジネスや日常場面での頻出語彙の確認、リスニング・リーディングの演習も行うことにより、プラクティカルな受信型の英語コミュニケーション能力（主にリスニングスキル及びリーディングスキル）を養っていく。 結果として、英語資格試験においてグローバル化に対応できることを示す高スコアの取得にもつながる。						
(5)授業のキーワード	Practical English Listening Skill Reading Skill						
(6)授業計画	W1	Orientation		Unit 1			
	W2	Unit 1	1A,	1B			
	W3	Unit 1	1C	reading passage			
	W4	Unit 1	1D	TED TALK			
	W5	Unit 1	TED	TALKの続き vocabulary test for Unit 1			
	W6	Unit 2	Unit 2	2A, 2B			
	W7	Unit 2	Unit 2	2C			
	W8	Review & Mid-Term Test					
	W9	Unit 2	2D	TED TALK			
	W10	Unit 2.	TED TALKの続き	Unit 4 4A			
	W11	Unit 4	4B	4C			
	W12	Unit 4	4C	4D TED TALK			
	W13	Unit 5	5A	5B			
	W14	Unit 5	5C	Reading passage			
	W15	Unit 5	5D	TED TALK 授業アンケート			
	W16	End-of-term test					
(7)成績評価の方法	①	授業課題（worksheet, book report, 小テストなど）40 %					
	②	期末テスト 40%					
	③	TOEIC IPテストのスコア(10%) (評価点(10%)へのスコア換算式:取得スコア×0.0165【上限10】)					
	④	「Practical English 9(Reallyenglish)」の自学自習(10%)					
(8)成績評価の基準	授業で解説した内容と同レベルの問題が 60%以上解ければ「合格水準にある(可)」 70%以上解ければ「合格水準よりやや上にある(良)」 80%以上解ければ「合格水準よりかなり上にある(優)」 90%以上解ければ「卓越している(秀)」 とみなす。						
(9)事前事後学習の内容	・この授業は2単位のため、60時間以上の授業時間外学習を必要とします。 ・eAlpsを活用して、課題の出題・提出を行う。具体的には予習課題を毎回授業前日に提出し、授業に臨んでください。 ・各unitごとに単語テストを行うので、準備が必要です。 ・時間外学習として、英語本を読みbook reportとして提出してもらいます。英語本はonlineまたは、図書館にて利用できます。						
(10)履修上の注意	Using an English-English dictionary is recommended. Many electronic dictionaries contain English-English dictionaries such as Oxford Advanced Learner's Dictionary or Collins Cobuild Learner's Dictionary. ＊ 毎回の授業に欠席せず、臨むことが重要ですが、止むを得ず欠席する場合はメールなどで連絡を入れるようにしてください。欠席した日の内容は,eAlps上に掲示しますので課題などを把握して対処するようにしてください。 ＊ 授業への積極的な参加と定期的に出題される課題への意欲的な取り組みが必要です。						

(10)履修上の注意	* 授業外の時間に、なるべく多く英語にふれる機会をつくるようにしてほしい。 * reallyenglishの自習課題は、IP テストと達成テストに向けて計画的に進めるようにしてほしい。
(11)質問,相談への対応	火曜日は3階の教員控え室、または語学作業室 (lunch time、16:20- 17:30 PM) 水曜日は3階の上記の控室にて。 (12:30 - 14:30 PM) mailでも質問は受け付けます。mail addressは初回授業で伝えます。
(12)授業への出席	・全ての回に出席することを基本とします。 ・授業を4回以上欠席した場合、この授業の達成目標に到達することができないため、成績評価の対象外(評点は0点)となります。 ・感染症報告システムに登録し「出席停止」と判断され、授業に出席できなかった場合は欠席とはみなしません。 ・「学修の補充の対象とする事由」(『共通教育履修案内』参照)により、授業に出席できなかった場合は欠席とします。
(13)授業に出席できない場合の学修の補充	・「出席停止」により授業に出席できなかった場合は、健康安全センターからのメールを担当教員に転送して、学修の補充に関する指示を受けてください(『共通教育履修案内』参照)。 ・「出席停止」ではなく「学修の補充の対象とする事由」(『共通教育履修案内』参照)により出席できず、補充を希望する場合は、所定の方法(『共通教育履修案内』参照)により、共通教育窓口で申請してください。(この場合は、出席扱いにはなりません。)
【教科書】	Keynote 4 (Cengage Learning) ISBN 979-8-214-33388-5 通年で使います。
【参考書】	English-English dic